

NOTE BOOK

*Manufactured with best ruled foolscap
Brings easier & cleaner writing*

敬学会賞第十八回入選作品

音楽にーいて

VOL. _____

57

山一小 6の1

飛塚真知子

目次

目次	——	1ページ
動機	——	2
音楽の歴史	——	3～5
有名な音楽家	——	6～9
いろいろな楽器	——	10～11
拍子記号	——	12
各学年拍子しるべ	——	13
反省	——	14
使った本、お世話になった人	——	15

〈動 機〉

五色温泉の山でうつくいうぐいすの声をきいて
いるうちに、すばらしい音楽になっていることに
きがつきました。大やねこの鳴き声も、カエルの声
も、汽車や自動車までも、それに風や雨の音までも、す
べて音楽になっています。
それで、音楽のれきしやゆう名な音楽家たちのことを
しらべたいと思います。

＜音楽の歴史＞

♪ 人類は、いつごろから音楽をもっていたのでしょうか。
今から五千年ほど前、ギリシアやエジプトに音楽
があったことは、土器やへき画にかかれた絵から
わかります。

たてこたえをひいたり、ふえをふいたりしている女の
人が描かれています。

♪ ギリシアがあとろえて、ローマ帝国の時代になる
と、キリスト教がヨーロッパに広まり、キリスト教を
中心とする音楽がおこりました。神をたたえるさ
く美歌が、その中心でした。

♪ しかし、15世紀ごろから、教会の力もおとろえさが
て、現代の音楽のきそをついたふたりの大音楽家
があらわれました。それは、バッハとヘンデルです。

このふたりは、1685年にドイツに生まれ、内容と
形式の美しいつりあいを目的とした音楽をつくり
ました。バッハの「G線上のアリア」、ヘンデルの「調
子のよいかじ屋」は、みなさんもよく知っているでし
ょう。

♪ 「おもちゃの交きよう曲」の作曲家ハイドンは、このふ
たりより、50年ほどあとで生まれた、ドイツの音
楽家です。ハイドンは、「交きよう曲の父」といわれ
るように、たくさんの美しい交きよう曲をつくりま
した。

♪ このハイドンの音楽を、さらにととめつたものに
したのが、オーストリアに生まれたモーツァルト
です。

モーツァルトは5才のとき、すでに作曲したほ

じの音楽の天才で、35才のみじかい生かいにみなさんがよく知っている「トルコ行進曲」など100曲もの美しい曲をつくりました。

このモーツァルトのつぎにでた音楽の天才がドイツに生まれたベートーベンです。

♩ ベートーベンは、それまでのバッハやヘイドンなどの音楽を受けついで、うえじぶんの感情をいれた、すぐれた曲をたくさんつくりました。

なかでも、9つの交響曲は、現在もともさかんに演奏されている各曲です。

♩ 19世紀には人間の感情を自由に表現したり詩とむすびつけた曲をつくらたりする音楽家が増えてきました。

ピアノも、現在のものに、ちがいのものがつえられるようになりしました。野バラをはじめ、多くの歌曲をつくったシューベルトや「ロメオ」をつくったシューマン、「ハンカリア曲」をつくった、ブラームス、天才の「ワルツ」や「別れの曲」などの美しいピアノ曲をつくったショパンなどはみな、この時代の人たちです。

♩ また、オーストリアのウィーンにヨハン・シュトラウスがでて「美しき、青きドナウ」などの美しいワルツをつくりました。アメリカでも「オースサンカ」や「こきょうの人々」などの曲をつくり、アメリカ民謡の父とよばれるフォスターが活躍しました。

♩ また、ロシア(ソ連)の作曲チャイコフスキーも、「白鳥の湖」などのバレエの曲をつくりました。19世紀のなかばごろ、じぶんの国の民ぞく

性を音楽にとりいれた曲をつくらった音楽家がでてきました。「ペールギュント組曲」をつくらったルウエーのグリークや「楽府世界」をつくらったエロスロバキアのドボルザークなどがそうです。

19世紀の終わりにはそのまでの作曲の規則や習慣にとらわれないで感じたままを作曲する新しいところみをする人たちがでてきました。「牧神の午後への前奏曲」を作曲したフランスのドビュッシーなどがそうです。

日本では、明治の中ごろから西洋音楽がとりいれられるようになり、今までお話ししてきたようなすぐれた音楽家たちの曲を研究して、世界でも知られるように進歩してきました。

＜有名な音楽家＞

・バッハ (1685～1750)

ドイツの作曲家。その家は300年にわたって多くの音楽家をだしている。ドイツの伝統的な音楽を中心に、イタリア、フランスにおける新しいけいこをかかえ、宗教音楽の上に大きな足あとを残して、近代音楽の父と呼ばれるに至る。代表作。「マタイ受難曲」

・ヘンデル (1685～1759)

イギリスの作曲家。ドイツに生まれ、音楽家としてたちノルバーンに仕えた。1714年公がイギリス王(ジョージ1世)となるや、やがてイギリスに渡り、26年帰化。イタリア音楽の伝統にもとづき雄大、荘重な曲を作って、貴族や市民にもてはやされた。代表作。

(オラトリオ「メシア」)。

・ハイドン (1732～1809)

オーストリアの作曲家。少年のとき教会の見習い歌手となり、多くの合唱曲と音楽理論を学んだ。1752年ごろより作曲も始め、70年ごろに至って名声は大いに高まったのちウィーンに住んで、かすかすの名曲を作り、ドイツは曲音楽を確立。器楽を世界的音楽にまで高めた。代表作 (天地創造) (四季)

・モーツァルト (1756～1791)

オーストリア作曲家。その一族もみなすぐれた音楽家であった。6才のときからピアノとして各地を旅行。1781年よりウィーンに住み

作曲と演奏の生活をつづけた。その曲は、
優が、明るくウィーン古典音楽の代表と
いわれる。代表作。

(オペラ「ドン・ファン」「フィガロの
結婚」「笛」)

・ベートーベン (1770~1827)

ドイツの作曲家。祖父も父も楽師であった。
はじめピアノリストとしてたち、やがて作曲家
としてみとめられた。20代の終りから身が
遠くなったが、これにくせす、曲にはけみ
ドイツ古典音楽を大成した。しかし、肉体の
上でも家庭生活の上でも不幸がつづきそ
の生が「いはい」であった。その曲目はす
こぶるタタ、後世の音楽のきそをなしてい
る

・シューベルト (1797~1828)

オーストリアの作曲家。ウィーンの生まれ。
幼いときから、音楽の才能をあらわし、1814
年、教員生活のかたわら「ま玉」「野ばら」を
作曲。その後ピアノ曲、管弦楽曲室内楽な
ど、多数の名曲を作ったが生前は余り認め
られず、独身のまま貧しく不健康に悩
みながら死去した。代表作
「ぼたいてい」未完「交響曲」

・シューマン (1810~56)

ドイツの作曲家。とくに歌曲ピアノ曲にすぐ
れている。作曲のほか、音楽雑誌の編集
や評論の執筆にもたずさわっている。

1840年クララ(1819~96)と結婚。以後
多くの名曲を作っているが、したがい、ネ申
系病になせまされるようになり、ついに
ライン川に投身した。夫のクララはピアノ
演奏家として有名。夫の作品を広めるの
に力をつづけた。

・ブラームス (1833~97)

ドイツの作曲家。幼少時からピアノを学び
16才ごろから各地を演奏旅行し、シューマ
ン、リストらに認められた。のち指揮者とな
ったが、最後は作曲に専念。その曲は、ドイツ
音楽の伝統を重んじ、古典的な感じを持
たせるようにとめた。

・ショパン (1810~49)

ポーランドの作曲家。1830年祖国
を去り、パリに住みつく。その天才はパリ
ネオ界の人気を集め、多くのピアノ曲を作
った。病弱であったが、祖国を思ひ、情熱は
神経のこまかい曲の上にちよくあらわれ、ま
た、詩情もゆたかでピアノ詩人と呼ばれている。

・チャイコフスキー (1840~93)

ロシアの音楽家。はじめ役人となったが、1863
年退職して音楽に専念。
ロシア民族のおおらかな、おもしろい味とを
組みあわせ、ドイツ風の技法も取り入れた交
響曲の大作を書き、国際的に高く評価さ
れた。87年自作の演奏のためはじめて指揮。
以来、指揮者として欧米の各地に演奏旅行

を行なった。93年「交響曲第6 (悲愴)」を書いたのち、コレラで死去。ほかの代表作は「交響曲第5」「ロメオとジュリエット」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」

。グリーグ (1843~1907)
ノルウェーの民族的作曲家。ヒロアノを独唱のための作品を多く発表している。また諸国をまわって、自作の曲その他指揮も行なった。

。ドボルザーク (1814~1904)
チェコスロバキアの作曲家。主としてフーテンを中心に活躍。チェコの民族音楽ハロシヤやポーランドなどのメロディーも取り入れ、ラブ風の曲を作った。また1862年から95年までアメリカに滞在、ニグロサインデイヤの音楽も取り入れている。「新世界交響曲」はこの間の作曲であった。

＜いろいろな楽器＞

木管楽器

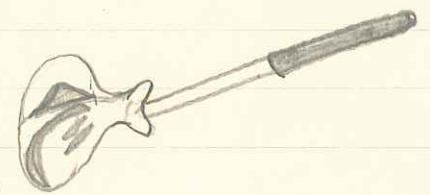
- 。ソプリンサキソフオーン
- 。イサーサキソフオーン
- 。オーボエ
- 。ファルトサキソフオーン
- 。クラリネット
- 。バスクラリネット
- 。バズーン
- 。ソプラノサキソフオーン

金管楽器

- 。ホルネット
- 。トランペット
- 。スライドトロンボーン
- 。バルブトロンボーン
- 。金管フリューート
- 。フレンチホルン
- 。ヘリコーン
- 。バス
- 。バリトン
- 。チューバ

打楽器

- 。トライアングル
- 。カスタネット
- 。木きんじろフオーン
- 。小太鼓
- 。カセドルチャイマス
- 。タンブリン



- ティンパニー
- ハンドカスタ
- シンバル
- 大太鼓
- ビオラフォン
- テキンオーケストラベル
- 弦楽器
- バイオリン
- ビオラ
- マンドリン
- ハープ
- ギター
- ウクレレ
- チェロ
- コントラバス



＜拍子記号＞

二拍子	$\frac{2}{2}$		小節の中に1を1拍として二拍数える拍子	
	$\frac{2}{4}$		小節の中に1を1拍として二拍数える拍子	
三拍子	$\frac{3}{4}$		小節の中に1を1拍として三拍数える拍子	
	$\frac{3}{8}$		小節の中に1を1拍として三拍数える拍子	
四拍子	$\frac{4}{4}$		小節の中に1を1拍として四拍数える拍子	
六拍子	$\frac{6}{8}$		小節の中に1を1拍として六拍数える拍子	

〈各学年拍子しらべ〉

別紙

- 1年 $\frac{3}{4}$ 拍子が多かった。
- 2年 $\frac{3}{4}$ 拍子が多かった。
- 3年 $\frac{2}{4}$ 拍子が多かった。
- 4年 $\frac{4}{4}$ 拍子が多かった。
- 5年 $\frac{4}{4}$ 拍子が多かった。
- 6年 $\frac{4}{4}$ 拍子が多かった。

やっぱり1年～3年あたりまではかんたんに
うたえる $\frac{3}{4}$ 拍子が多く4年～6年は $\frac{4}{4}$ 拍子
が多くなり、この学年になるにつれて、必ず「かき
な」ていくことがわかります。

〈反省〉

世界の音楽家のことは、いろいろとわか
りました。ひろいはんいできなく、ひとつ
のことを、もっとふかしくけんきゅうしたい
とおもいます。

使った本

学習人名小事典

音集をたずねて

お世話になった人

おねえさん

おかあさん

題

ちょうちよ、ゆりがごのうた、かたつむり、ぶるぶるぶる、ほたるこい、はとぼろ、つき、水けんぼ、
たのいおるがき、ゆうやけこやけ、ももたろう、こがねむし、こびとのこうしん、たこのうた、あられ、
ぬのまる、大きなたいこ、すすめのおやど、あめふり、てんしゃごっこ、たき火、大ゆきこゆき
うぐいす

うみ、しりとり、こいのぼり、

23

3

6

3

いかなる、おうま、おぼしさま、元気にあるこう、お正月、きみがは

じけんけんぼん、こあいざつ、あそびましょう、

1年

題

こいのぼり、さんぽ、いせんけんぽん、ガッサーあそび、あんたがたどこさ、なめとやうた 計
たなばたさま、うらしまだろう、むしのこえ、お手たしい、うさぎ、なかよしこよし、
木のかげや、どんぐりころころ、お山のおさる、ゆき、たのしいよる、きしゃぽっぽ、24
だいこくさま、みなまつり、かもめのすいはいさん、うたりまち、木のは、はねさ、

かっこう、きくの花、はごろも、

$\frac{3}{4}$

3

さくらさくら、とくりやんせ、ながいみち、はるがきた、なはり

$\frac{4}{4}$

5

おとあそび、ちうすぐ三軒んせい、

$\frac{6}{8}$

2

2年

題

計

$\frac{2}{4}$

音のたいそう、こいのぼり、しりとり、こんこん小山、たのしい遠足、池の雨、こびつね、
村まっり まっりのたいこ、こたずま、のぎく、かぬかなる、かりうど、なれとひねずみの
もちひき、汽車、たのしい春休み、雨、てるてるぼつず!!

19

山の歌、港、かぬの音、風、雨の夜、春をまつ、こじかのバンビ、せいくらべ、

8

$\frac{3}{4}$

春の小川、歌のけいこ、秋、十五夜お月さん、もみじ、てまり歌、おもちゃシンフォニー—
ふじ山、きみがよ

9

$\frac{4}{4}$

こげふねよ、せみ、おるすはる、おにこつこ

4

$\frac{6}{8}$

3年

題

計

汽車、ぶんぶんぶん、わりがごの歌、月、かえるの合唱、きたえる足、
ほたる、森の音楽会、楽しい行進、野ばら、山の音楽家、あの町、
の町、村のカレヤ、スキー、雪がせん、夜まわり、こあいお話、

17

ゆか葉、小川、お友達、秋の夕べ、おどり、みのりの秋、夜汽車、

スケータースワルツ、

8

春の小川、もみじ、かすみか雲が、アマリス、学級会、水車、田うえ、
茶つみ、とんぼ、子もり歌、赤とんぼ、まりのたいに、流れ星、ホフオ、
小ぎく、ぼくのびてん車、和音合唱、君が代、歌いましょう、

19

水かいの歌、山の歌、赤いゆう便はこ、楽しいおせうじ、
ねむれよ、子もり歌

6

4年

是頃

村のかげや、春、えんそく、しずかな湖、なつの朝、たなはた、りようかんさま、
こうじよう、いなかの冬、こきようの空、雲のみなもめさして、アヒニヨンのはしの上で 12

$\frac{2}{4}$

6

しりとり春をまつ、海、ゆづり、冬げしき、ヌヌエット

$\frac{3}{4}$

赤とんぼ、子もりうた、おほしさま、春風、こいのぼり、みどりのやがせ、五月の夜、
あまたれ、まきはりの朝、ながしきの歌、朝の歌、たのしきのうた、まっりのよい、
ほしすさ秋、ずいずいづころばれ、かりがめたる、すな山、たゆらはごろごろ、
思いて、星の世界、まちぼうけ、かねの音、そりのすす、スキー、きぼうの歌、
ぼたるのなかり、きみがよ、 27

$\frac{4}{4}$

3

三つきのねずみ、とう台もり、友を送る日

$\frac{6}{8}$

5年

題
スカンホのさくころ、いちご、鉄道唱歌、みね船、かぐやめ、
親い友

 $\frac{2}{4}$

15

海、冬げしき、かこう、冬の夜、おぼろ月夜、平和をわれらに、きのいいがよう、
たき、美しき天然、青葉のふえ、赤とんぼ、ドナウ川のさざなみ、ふるさと、
母、希望の若鳥

 $\frac{3}{4}$

20

こいのぼり、さくらさくら、森の木車、われは海の子、つりがね草、秋の夜わ、
かまくら、むかしむかし、こうじょうの月、旅しゅう、波のおどり、よるこひの歌、
シューベルトの子もり歌、お江戸日本ばし、こきょうの人々、スキーの歌、
ゆかいなかいせ、君が代、結婚行進曲、楽しいマーチ

 $\frac{4}{4}$

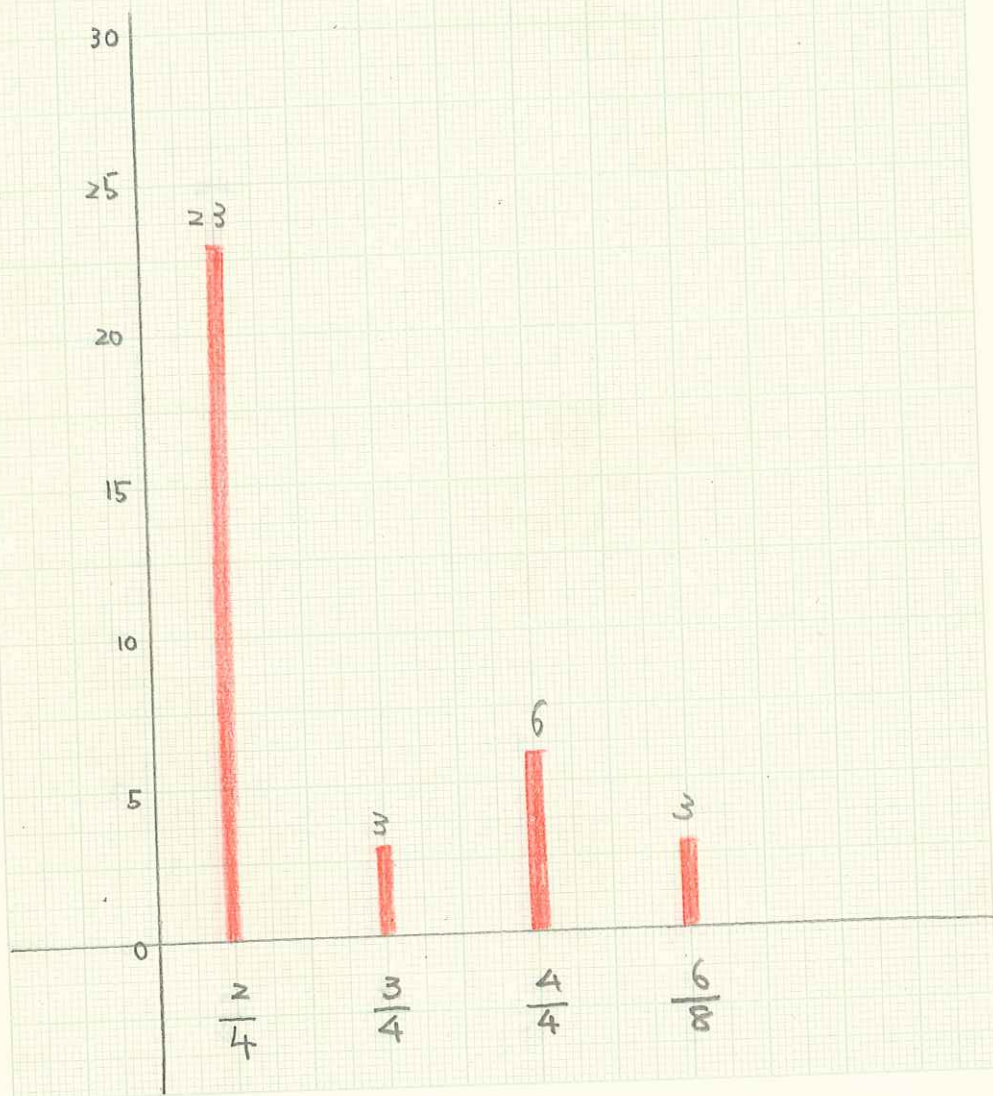
小川のほとり、牛とカエル、五月の歌、のぼら、舟遊び、日本アルプス、静夜
春の足音、あおげばとおとし、小鳥と花と、

 $\frac{6}{8}$

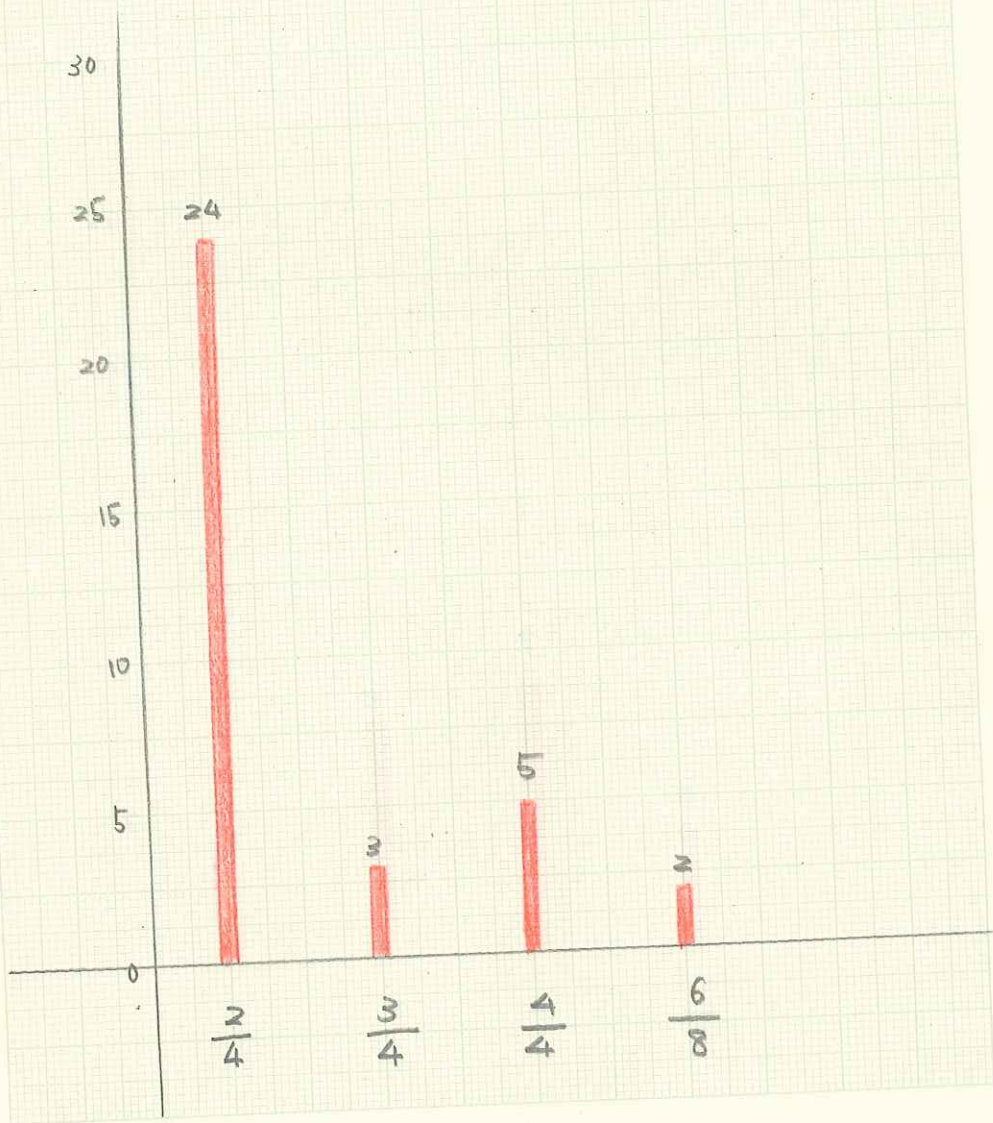
10

6年

1年生の各拍子の合計



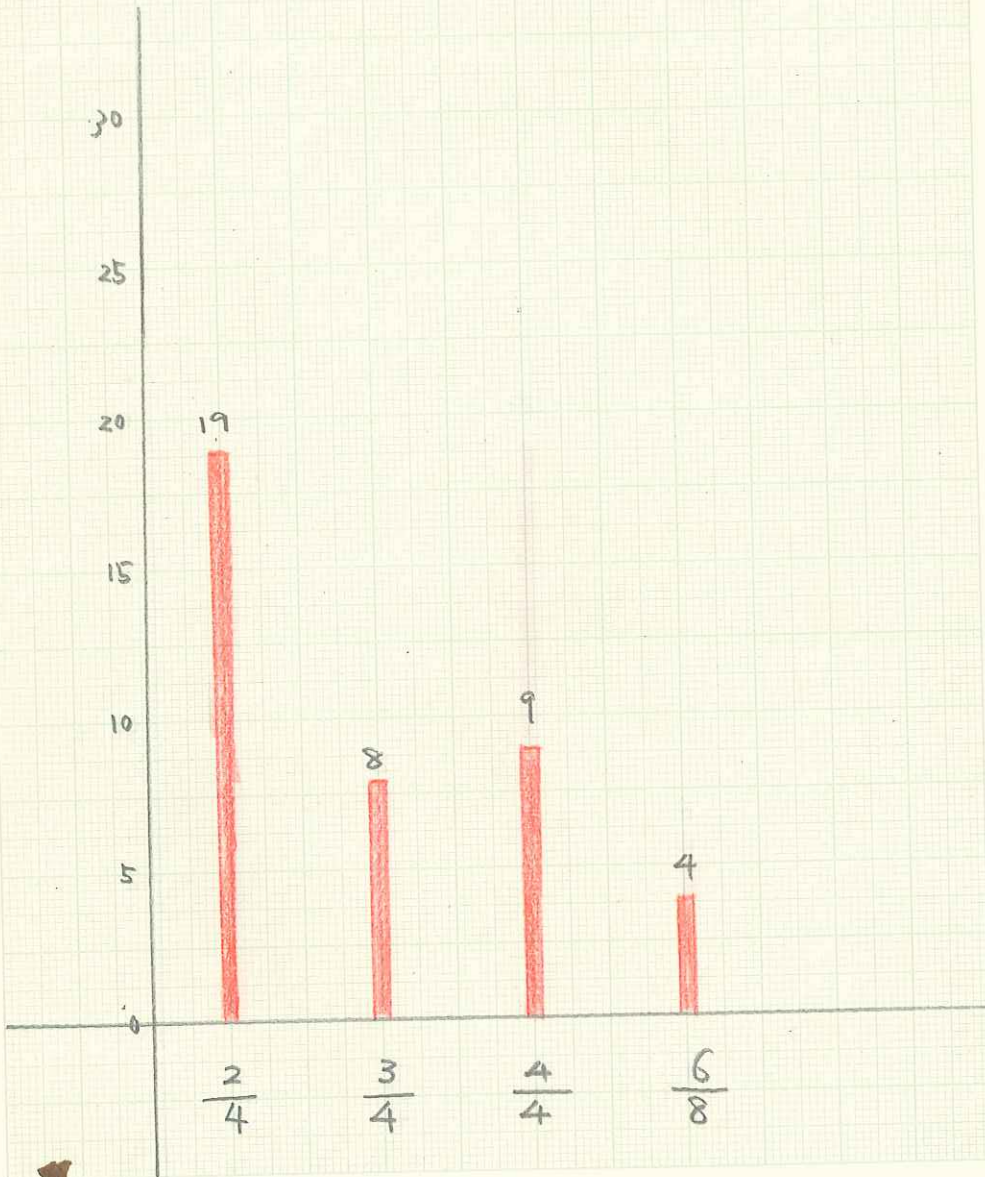
2年生の各拍子の合計



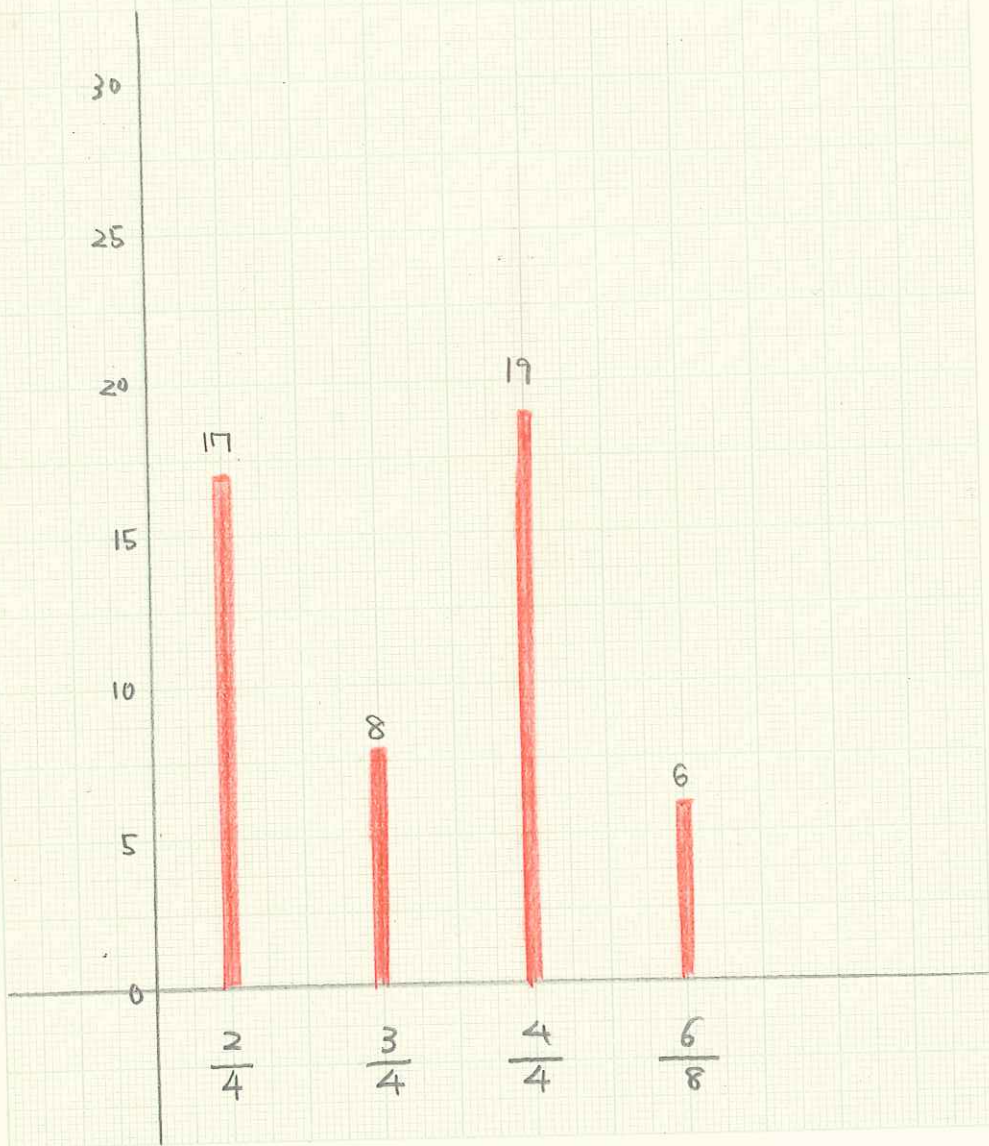
第 学年 組 番号 姓名

1冊/組 130×150 27.3

3年生の各拍子の合計



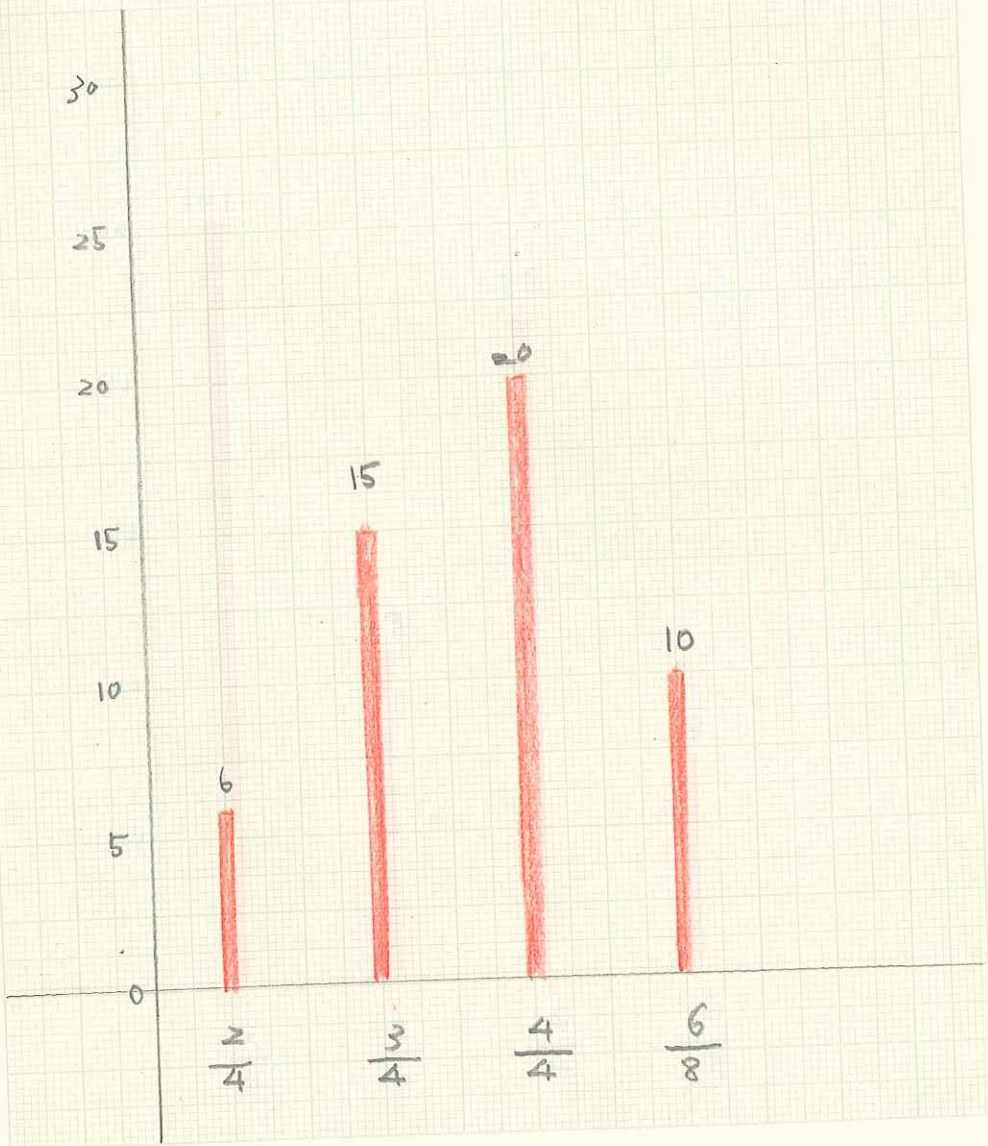
4年生の各拍子の合計



5年生の各拍子の合計



6年生の各拍子の合計



全学年の拍子の合計

